

## **美術科**

美術科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### **選定の観点**

- 1 美術科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るために工夫・配慮がされていること。
- 2 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- 3 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、多様な表現方法や造形要素に関心をもたせる題材の構成が工夫されているとともに、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- 4 表現活動と鑑賞活動の有機的な関連が図られ、かつ創造的な内容が取り入れられているとともに、内容に偏りがなくバランスがとれ、題材の配列にも配慮されており、全体の分量も適切であること。
- 5 心豊かな生活を創造する意欲と、美術を愛好する心情を育てるとともに、国際理解を進め、伝統と文化を尊重し、そのよさを継承・発展させる態度の育成が図れるよう工夫されていること。
- 6 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- 7 題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。
- 8 基本人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 9 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で美しく使いやすいことに加えて、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

## 美術科

### 調査研究の結果の概要

#### ■開隆堂出版「美術1」「美術2・3」

同年代の様々な生徒作品を多く取り上げていることが特徴で、多様な表現方法や造形要素に関心を持たせ、また、その生徒作品例を中心に「作者の言葉」を付けることで、同年代の作者の思いに深く触れることができ、発想・構想段階での大きな刺激となり、思考力・判断力・表現力の育成を促している。

鑑賞の題材では、原寸大の図版を掲載することで、意欲的・主体的な学びを促すとともに、生徒に作品の質感などの具体的なイメージを持たせることで言語活動の充実を図っている。

日本の伝統と文化については、国宝や重要文化財をはじめ、うちわや弁当箱、和様柄といった生活の中に息づいた美術まで豊富に取り上げており、そのよさや美しさに触れることで伝統と文化を尊重する態度の育成を図っている。また、絵巻物の鑑賞題材では、現代の漫画やアニメーションの表現にも結び付け、伝統的な美術を継承・発展させる態度の育成を図っている。

基礎的・基本的な内容の定着については、巻末に主に必要となる色彩や用具・道具の基礎的な知識がまとめられており、相互に関連するページをマークで示し、興味・関心に応じて主体的に学習が進められるようにして、学習内容のより確実な習得を図っている。

しかし、風景画の学習内容では、題材を限定したことで掲載作品の多くが一点透視図法を使った構図となっており、他の遠近法による表現とのバランスがとれておらず、様々な風景画が持つ魅力やそれを捉える視点の幅が狭くなっているように考えられる点や、巻末資料に掲載されている色相環の色について、財団法人日本色彩研究所の配色体系に準拠した配色カードに対応していない色が多く、不十分である。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○2 0 △2

#### ■光村図書出版「美術1」「美術2・3」

「基礎的・基本的な内容の定着」、「言語活動の充実」、「思考力・判断力・表現力の育成」に向けた配慮が優れている。各題材には、4観点の「目標」と振り返り用のチェックマーク欄を設け、生徒自らが学習を振り返り、目標が達成できたかを確かめることができるとともに、表現と鑑賞で共通に指導する事項である「共通事項」の内容をもれなく各題材に示すことで、すべての学習活動で常に「共通事項」を意識できるような工夫がなされている。

また、巻末資料も様々な素材での道具の使い方や技法、表現方法などの幅広い内容を取り上げ、表現中心の題材においては、相互関連する内容について「リンクマーク」を示し、表現活動に取り組む際に自ら参照できるようにするなど、基礎的・基本的な知識や技能等を確実に習得できるよう工夫がなされている。

言語活動については、「語り合おう」「話しあおう」「考えてみよう」などの文言や「共通事項」の内容にかかる問い合わせを各題材に示すことで、色や形・材料に視点を向けた鑑賞活動へ導くよう工夫されている。また、豊富で多様な作品や写真を掲載するとともに、見開きや大型図版を効果的に活用することに加え、作品に合わせた詩を掲載したり、原寸大の図版として4点すべて違う分野の作品を掲載したりするなど、それらと一緒に味わったり、見比べたりすることを通して、幅広く味わいながら言語活動の充実を図っている。

さらに、各題材には発想や構想を練る際のヒントを設けるとともに、「作者の言葉」やプロが実際に使用しているアイデアノートを掲載するなど、作品を生み出すための工夫や努力の過程を感じ取れるようにして、制作過程における思考力・判断力・表現力の育成を助ける工夫がなされている。また、各巻の冒頭で、小学校図画工作科の振り返りから、身の回りのデザインや美術を意識させ、美術の学習で身に付けた力を生かすことで、私たちの暮らしや社会を豊かにすることが実感できるよう、優れた工夫がなされており、それが生徒の動機づけとなって、生涯にわたって学び続ける態度を育てようとしている。

そのほか、テーマをもって異文化の作品等を比較することで国際理解を進めるとともに、日本の美術文化を尊重する態度の育成を図るために題材を積極的に取り上げ、また、インデックス、マークなどを活用した高い視認性が特徴的である。さらには、巻末資料の色相環に色名を記載することで、色覚特性へ配慮した点は優れた工夫である。

「選定の視点」の評価結果：◎12 ○11 △0

#### ■日本文教出版「美術1 出会いと広がり」「美術2・3上 学びの深まり」「美術2・3下 美の探究」

生徒の発達段階を踏まえた配慮がなされていることが特徴で、美術1で小学校図画工作科の学びを詳しく取り上げ、中学校美術科との接続性や関連性が図られている。また、各学年段階の経験等に応じた学習内容が選択できるよう、2・3年を上・下に分冊した編集となっている。

基礎的・基本的な内容の定着については、各題材に4観点で「学びのねらい」を示し、あわせて「POINT」マークで学習の手がかりを与えることにより、色彩や技法・素材・映像表現など豊富な内容を扱った巻末資料の活用や「参照」マークで他のページと関連付けたりするなどして学習内容の確実な習得を図っている。

言語活動については、見開き2ページを使用した作品や文章のレイアウトを工夫し、作品をより大きく掲載したり、浮世絵版画のページでは紙質を和紙に変えることで、触覚も含めたより深い鑑賞活動を促し、言語活動の充実を図っている。

伝統と文化の題材については、器や衣類、祭りなど、日常の衣食住の各場面に伝統と文化が重んじて取り入れられている様子を提示し、生徒が日頃の生活を振り返ることで、美術を愛好する心情を育てるとともに、心豊かな生活を意欲的に創造する態度の育成につながるよう配慮されている。また、「桂離宮」を題材に自然とのつながりから生まれた造形に目を向けさせ、心豊かな生活を創造する意欲や伝統と文化を尊重する態度の育成を図るとともに、「現代に受け継がれる浮世絵版画」の資料を掲載することで、そのよさを継承・発展させる態度の育成を図っている点が特徴的である。

そのほか、インデックスや学びのねらい、学習内容のポイントなど、マークを効果的に使い、誰もがわかりやすい表示となっている。

「選定の視点」の評価結果：◎5 ○18 △0

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

## 観点別資料　—美術科—

**【選定の観点1】** 美術科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行社名	9 開隆堂	3.8 光村	1.1.6 日文
	<p>○表現題材のページに「学習の目的」を含んだ題材解説文と題材ページの最後に自己評価のための4欄点の「ふりかえり」を示し、学習の定着を図る工夫がなされている。</p> <p>○各表現題材で必要な基礎的な技能や知識の習得事項を好みで示し、注目を促すよう工夫がなされている。</p> <p>○巻頭にはガイドランク、巻末には光や色彩などの基本的な知識、用具や道具の使い方などの資料や美術史年表がまとめられ、基礎的・基本的な知識・技能を習得するための配慮がなされている。</p> <p>○表現と鑑賞で共通に指導する事項である「共通事項」の内容を主に題材の主文や作者の言葉から読み取り、意識できるよう工夫されている。</p> <p>○相互に関連するページをマークで示し、興味に応じて自主的に学習が進められるよう、学習内容のより確実な習得を図っている。</p> <p>○安全について、「安全マーク」や巻末資料でイラストや写真を使って具体的に示し、安全な使い方が確実にできるよう配慮されている。</p> <p>○各巻の目次のページで著作権についての配慮を記述し、注意を促している。</p>	<p>○各題材名の横に4欄点の「目標」を示し、付けたい力や学習のねらいを明確にしている。また、それぞれの「目標」の文頭にチェックマーク欄を設け、生徒自らが学習を振り返り、目標が達成できたかを確かめられる工夫がなされている。</p> <p>○各題材の「目標」の下に「共通事項」の内容を示し、すべての学習活動において、常に意識できるようにしている点は、優れた工夫である。</p> <p>○巻末の「學習を支える資料」等において、様々な素材での道具の使い方や技法、表現方法、美術史や作家コラムといった幅広い内容を取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る工夫がなされている。</p> <p>○表現中心の題材で巻末の「學習を支える資料」に関連する題材には「卷末資料へのリンクマーク」を示し、表現活動に取り組む際に自ら参考して確実に習得できるよう工夫がなされている。</p> <p>○扱いに注意が必要なものについて、「安全の注意」マークと説明をつけて安全な使い方が身に付けられるよう配慮されている。</p> <p>○「學習を支える資料」の「トピック美術史」で、美術史の中で重要な流れに関する内容や学んでもらいたい美術史用語を整理して取り上げ、知識・理解を深められるよう配慮されている。</p> <p>○「映像メディアを活用する」のページで、肖像権や著作権についての配慮を記述し、注意を促している。</p>	<p>○各題材のタイトルの横に「学びのねらい」を4欄点で示し、ページの中にも「POINT」マークで学習の手がかりを与えるなど、学習内容の習得を図る工夫が優れている。</p> <p>○巻末の「學習に役立つ資料」等において、鑑賞・色彩・技法の説明や、美術史年表、素材を生かした技法、ICT機器を使った技法や伝統文化、美術館、建築等、豊富な内容を扱い、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る工夫がされている。</p> <p>○学習と関連する内容が掲載されているページを「参照」マークで示し、確実な定着を促している。</p> <p>○「共通事項」の内容を主に各ページのタイトルや主文、学びのねらいに盛り込み、意識できるよう工夫されている。</p> <p>○作品をつくる上での安全に関する注意点をマークで示すことで、生徒が正しい使い方ができるよう配慮されている。</p> <p>○各巻目次や「写真撮影の第一歩」のページで、著作権や肖像権についての配慮を記述し、注意を促している。</p>

**【選定の観点2】** 思考力・判断力・表現力を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。

発行社名	9 開隆堂	3.8 光村	1.1.6 日文
	<p>○生徒作品例を中心にして「作者の言葉」をつけて取り上げることで、作者の思考・判断・表現に深く触れることができるよう工夫されている。</p> <p>○同年代の多様な生徒作品を掲載することで、発想・構想の段階での思考力・判断力への刺激となるよう工夫されている。</p> <p>○作品の発想や構想を追究する際のヒントを図版・写真に挿入して示すことで、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を促している。</p>	<p>○発想や構想を練る際のヒントを「POINT」を設けてわざりやすく示すとともに、「作者の言葉」や「作品解説」をつけて作品例を取り上げることで、思考力・判断力・表現力の育成を支える工夫がなされている。</p> <p>○紙質を和紙に変えたページに原寸大の作品を掲示することで、視覚だけではなく触覚にも訴えかけ、鑑賞活動の充実を促す工夫がなされている。</p>	

<p>○鑑賞活動において、作品を深く味わうような「問い合わせ」を設けたり、同じテーマで表された日本画と西洋画を見開きの左右に配置し、比較できないように取り上げるなど、言語活動を促す工夫がなされている。</p> <p>○原寸大の作品を掲載し、画面の質感などのイメージを生徒が具体的に持ちやすくすることで、作品の印象や思いを言語で表現する際の充実が図られている。</p>	<p>通事項) に関しても設定するなどして、生徒を色や形・材料に視点を向けた鑑賞活動へ導く工夫が施されている。</p> <p>○「作者の言葉」として、生徒自らの思考・判断・表現へのヒントとなる「問い合わせ」を設けるなど、生徒が作品の印象や思いを言葉で表現することを助け、言語活動が行いやすくなるよう配慮されている。</p> <p>○豊富で多様な作品や写真とともに、作品に合わせた詩を掲載したり、原寸大の図版として4点異なる分野の作品を掲載し、それらを一緒に味わったり、見比べたりすることで、発想の幅を感じたり、発想の自由さや広がりについて考えやすく、言語活動が充実している。</p> <p>○言語活動を促す問い合わせを「学びのねらい」の欄に示すことで、ねらいに即した言語活動の充実を図っている。</p> <p>○言語活動の主となる鑑賞活動が行いやすいように、見開きや折込みページに大きな図版が掲載され、絵具のタッチや質感など作品の表情を細部にわたって捉えることができ、鑑賞がなされている。</p> <p>○1年で「感じよう」「話し合おう」、2・3年で「理解しよう」「味わおう」「広げよう」という問い合わせが多く、学年に応じて、言語活動の充実を促す工夫がなされている。</p>
<p><b>【選定の観点3】</b> 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、多様な表現方法や造形要素に關心をもたせる題材の構成が工夫されているとともに、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。</p>	
<p>発行社名 9 開隆堂</p>	<p>3 8 光村 1 1 6 日文</p>

### 【選定の観点3】 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、多様な表現方法や造形要素に關心をもたせる題材の構成が工夫されているとともに、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。

発行社名

<p>○「美術を通して学ぶ大切なことを」をテーマにしたページを各冊のトüşに構成し、学習の動機づけとして主体的な態度の育成につなげている。</p> <p>○鑑賞用の図版として、同じテーマで表された日本画と西洋画を見開きの左右に配置し、比較できるように取り上げ、多様な表現方法を主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○「原寸大で鑑賞しよう」のページでは、平面だけでなく、彫刻的・工芸的な作品も含め、大きさや質感、表情が実感できるよう、原寸大の写真と定規を模したスケールを掲載することで、多様な表現方法や造形要素に關心をもたせ、意欲的・主体的に学ぶことができるよう題材の構成が優れている。</p> <p>○絵巻物の題材で、漫画表現を開闢付けて取り上げ、多様な表現に關心をもたせ意欲的に学ぶことができるよう工夫している。</p> <p>○生徒作品やアイデアスケッチを多く取り上げ、同年代の「作者の言葉」とともに掲載することで、多様な表現方法や造形要素に關心をもたせ、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○「みんなの工夫」で、制作過程の工夫やアイデアスケッチの工夫の例を提示したり、作家自身のスケッチブックの内容を一緒に取り上げたりするなど、生徒の意欲的・主体的な学びを引き出す工夫となっている。</p> <p>○主にデザイン・工芸において、自分の内面に目を向けるような題材とあわせて、生活の中の造形や美術の動きを実感させ、関心を持たせる内容を取り上げ、問題解決的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○大型図版を掲載する意図が明確で、生徒の意欲的・主体的な学びに対する効果的である。</p> <p>○絵巻物の鑑賞題材で、現代の漫画面に通じる表現を取り上げ、多様な表現に關心を持たせる工夫がなされている。</p> <p>○「みんなの工夫」で、制作過程の工夫やアイデアスケッチの工夫の例を提示したり、作家自身のスケッチブックの内容を一緒に取り上げたりするなど、生徒の意欲的・主体的な学びを引き出す工夫となっている。</p> <p>○主にデザイン・工芸の題材がデザイン・工芸を中心として取り上げられており、様々な観点から知識や体験等を生かして作品づくりができるよう題材構成が工夫されている。</p>
--

#### 【選定の観点4】

表現活動と鑑賞活動の有機的な関連が図られ、かつ創造的な内容を取り入れられているとともに、内容に偏りがなくバランスがとれ、題材の配列にも配慮されており、全体の分量も適切であること。

発行社名	9 開隆堂	3.8 光村	1.16 日文
○表現活動の題材において、各題材で「鑑賞」（導入として）→表現（発想・構想+制作）→鑑賞（知識・理解）と展開できるよう構成され、表現活動と鑑賞活動の有機的な関連が図られている。	○インデックスの表示に繋げられれば、指導者のねらいによって表現活動にも鑑賞活動にも活用することができるなど、作品を様々な視点から捉えることができるよう工夫されている。	○生徒個々の主体性や表現意欲、感じ方や考え方の多样性を引き出しため、表現と鑑賞の活動について、相互の関連が図れるようそれぞれの題材が適切に設定されている。	○表現活動と鑑賞活動の一体化が図れるよう、鑑賞活動のページに「参考活動」と「鑑賞活動」のリンクを示すなどの工夫がされている。
○表現活動の題材とともに、資料や鑑賞題材を充実させることで、表現活動と鑑賞活動の学習の内容についての関連や系統性、バランスを考えた題材構成が図られている。	○鑑賞中心の題材には、関連する表現活動の内容が提示されており、表現活動と鑑賞活動の関連に配慮されている。	○各巻とも「はじめに」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」でバランスよく分量も適切に構成され、豊富な題材を柔軟に選択できるよう工夫されている。	○各巻とも「オリエンテーション」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習に役立つ資料」で適切な量の題材を取り上げ、バランスもよく、効果的なカリキュラムが組めるよう配慮されている。
○年間授業時数を踏まえ、適切な分量で題材がバランスよく配列されており、柔軟に題材の選択ができる、指導計画が立てられるよう配慮されている。	○風景画の学習において、題材を限定したこととで掲載作品の多くが一点透視図法を使った構図となつており、他の遠近法による表現とのバランスがとれておらず、様々な風景が持つ魅力やそれをとらえる視点の幅が狭くなっている。		

#### 【選定の観点5】

心豊かな生活を創造する意欲と、美術を愛好する心情を育てるとともに、国際理解を進め、伝統と文化を尊重し、そのよさを継承・発展させる態度の育成が図れるよう工夫されていること。

発行社名	9 開隆堂	3.8 光村	1.16 日文
○国宝や重要文化財をはじめ、うちわや曲げわっぱの弁当箱、和菓子と一緒にした生活の中に息づく美術まで豊富に取り上げられるなど充実しており、日本ならではの伝統と文化のよさに気づき、尊重する態度を育成するための工夫が優れている。	○焼き物や和菓子、各地の伝統工芸等を取り上げ、生活を豊かにする工夫、美術を愛好する心情を育てる工夫がなされ、伝統と文化を尊重しながらも、良い部分を現代の生活に取り入れ、継承・発展させる態度の育成が図れるよう工夫されている。	○器や衣類、祭りなど、日常の衣食住の各場面に伝統と文化が重んじて取り入れられている様子を提示し、生徒が日頃の生活を振り返ることで、美術を愛好する心情を育てるとともに、心豊かな生活を意欲的に創造する態度の育成につながるよう配慮されている。	○「東へ、西へ…」や「日本美術の展開と世界との交流」など、東西の美術文化のつながりや融合を確かめ、比較できるよう構成され、日本の伝統と文化を尊重しながら、国際理解を深められるよう工夫されている。
○絵巻物では、後ろのページから見るように掲載され、本来の絵巻物鑑賞の形に近づける工夫がなされるとともに、現代のアニメーションや漫画への继承が示されている。また、その表現方法を生かした関連題材を提示し、作品の素晴らしさを継承・発展させる態度の育成につながるよう配慮されている。	○生活の中の美術を感じる内容のコラムが随所に掲載され、心豊かな生活を創造する意欲と美術を愛好する心情を育てるよう工夫されている。	○浮世絵版画を和紙を用いて掲載したり、「現代に受け継がれる浮世絵版画」を設けることで、伝統と文化を継承・発展させる態度の育成につながるよう配慮されている。	○浮世絵版画を和紙を用いて掲載したり、「現代に受け継がれる浮世絵版画」を設けることで、伝統と文化を継承・発展させる態度の育成につながるよう配慮されている。
○「ゴッホと日本」では日本の美術が諸外国に与えた影響について学び、「斬りの剣形」では日本とアジアの仏像を比較しながら鑑賞するなど、異なる文化理解と交流の面から国際理解教育を進める工夫がなされている。	○「佳離宮」という伝統的な日本建築を切り口に、心豊かな生活を創造する意欲や伝統と文化を尊重する態度の育成が図れるよう工夫されており、韓国、中国、ブータンの舞の面を比較して、「文様、飾りの小宇宙」の		

題材とあわせて、より豊かな異文化理解と交流の面から国際理解教育を 進める工夫がなされたり、優れています。
---

### 【選定の観点6】

生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。

発行社名	9 開隆堂	3・8 光村	1・16 日文
○各巻の冒頭で、美術の学習で育んだ力を社会でどのように生かすかなど、美術を学ぶ意味が提示されており、生徒の動機づけとなり、生涯にわたって学び続ける態度を育てようとしている。 ○デザインや工芸の分野で、材料を生かして使う・飾る・遊ぶなど自分の生活に彩りをもたらすものを取り上げるとともに、実際に使用している様子も掲載することで、探究意欲を高める工夫がなされている。 ○「環境をデザインする」では、校内の表示や建築模型など表現学習の内容を多く取り上げ、発展的な学習につなげる工夫がなされている。	○各巻の冒頭で、小学校の図画工作の振り返りから、身の回りのデザインや美術を意識させ、美術の学習で身に付けた力を生かすことで、私たちの暮らしや社会を豊かにすることが実感できるような配慮が施されている。 ○日常生活の中の色や形がどのようなふうにデザインされているか、デザイナーの発想例や自然物からの発見例などをもとにわかりやすく示されています。 ○「デザイン」と環境では、表現学習として建築模型を取り上げ、発展的な学習につなげるよう工夫されている。	○各巻の冒頭で、職業や生活の中に生かされている美術の役割や働きが提示され、身の回りにある美術への意識を高めるとともに、今後の生活を豊かにする提案が生徒の動機づけとなって、生涯にわたって学び続ける態度を育てようとしている。 ○日常生活の中の色や形がどのようなふうにデザインされているか、デザイナーの発想例や自然物からの発見例などをもとに深究意欲を高める工夫がなされている。 ○「デザイン」と環境では、表現学習として建築模型を取り上げ、発展的な学習につなげるよう工夫されている。	

### 【選定の観点7】

題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。

発行社名	9 開隆堂	3・8 光村	1・16 日文
○1年では発表や展示などの鑑賞活動を取り上げ、2・3年ではデザインした包装紙を地域の商店に使ってもらう場面や、発想を交流しながら高めるプロセスが取り上げられており、系統性・発展性を踏まえた構成となっている。 ○「美術はいつも生活や暮らしの中に」において5つの職業を取り上げ、「生きることと美術」では、制作の様子・作品・職業への思いを掲載し、「生きることと美術」では、表現することについて集大成的に取り上げることで、生き方探究（キャリア）教育との関連がなされている。 ○1年の「美術って何だろう」「集める・試す・組み立てる」では、小学校の図画工作科の造形体験から発展することを感じ的にも理解できるよう配慮されている。 ○社会で活躍する美術家やデザイナーなどの活動の様子や言葉が掲載されるなど、生き方探究（キャリア）教育との関連がなされている。 ○「生活を豊かに」「デザインで伝える」において、学校生活や行事中の美術の生かし方を掲載し、特別活動や総合的な学習の時間との関連	○1年では身近な生活の中から題材を取り上げ、美術へのつながりを意識した活動が盛り込まれ、2・3年ではその活動をさらに深めていくとともに、社会に目を向け、環境問題や平和に対する問題意識を持てるよう系統的・発展的な課題が設定されている。 ○1年冒頭の「美術って何だろう？」では小学校の図画工作科から中学校の美術科への流れが、2・3年冒頭の「朝起きてから夜眠るまでの美術」では生活や社会での美術の動きが示されており、他校種との関連や題材構成の発展性について配慮されている。 ○「美術史の年表や「トピックス美術史」など、社会科歴史的分野との関連について配慮されている。 ○社会で活躍する美術家やデザイナーなどの活動の様子や言葉が掲載されるなど、生き方探究（キャリア）教育との関連がなされている。	○1年冒頭の「図画工作、そして…美術へ」で小学校図画工作科の学びを詳しく取り上げ、中学校美術科との接続性や関連性が図られるとともに、「自然や身の回りにある形や色」、2・3年上「まちを彩るパブリックアート」、2・3年下「アートを体験する場に出かけよう」として、段階的に視野を広げ、系統的・発展的に美術を味わう工夫がなされており、優れています。 ○「夢をかたちにするデザイン」では、最先端の工業デザイナーと伝統工芸職人が同じページに取り上げられており、生き方探究（キャリア）教育との関連について配慮されている。 ○「共同制作の魅力」「自分たちの生活的な場を飾ろう」で、学校行事や学校空間の演出について配慮され、特別活動や総合的な学習の時間との関連について配慮されている。	

について配慮されている。	特別活動や総合的な学習の時間との関連について配慮がされている。						
<b>【選定の観点8】</b> 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。							
発行社名	<table border="1"> <tr> <td>9 開隆堂</td> <td>3 8 光村</td> <td>1 1 6 日文</td> </tr> <tr> <td> <p>○「生きることと美術」では個人の尊重と自主自律の精神を、「つながるデザイン」ではユニバーサルデザインの例を、「暮らしやすい町づくり」「夢を形にするデザイン」で障がいのある人が無理なく社会生活を営めるよう工夫されたデザインの例を学ぶなど、人権教育との関連について配慮されている。</p> <p>○「生活を豊かに」「動きのねましさを咲つて」など、友達と関わるながら制作するといったコミュニケーションを意識した題材が多く設定されるなど、道徳教育との関連について配慮されている。</p> </td><td> <p>○「やさしさのデザイン」ではユニバーサルデザインを教えると同時に「デザインで変える現在と未来」では基本的人権に関する諸問題をデザインの力で解決する例を取り上げるなど、人権教育との関連について配慮されている。</p> <p>○道徳教育と関連付けられる内容には「クローバーマーク」が付され、その内容を啓発する文章が掲載されるなど、優れている。</p> </td><td> <p>○「やさしさのデザイン」ではユニバーサルデザインの視点から、「暮らしやすい町づくり」「夢を形にするデザイン」では基本的人権に関する諸問題をデザインの力で解決する例を取り上げるなど、人権教育との関連について配慮している。</p> <p>○道徳教育について、関連する内容には「ハートマーク」が付され、その内容が分かりやすく明示されるとともに、「自画像、今を生きるあなたへ」では、自分と向き合うことをテーマとして、自己の向上を図り、また、東日本大震災に関連した内容も含まれるなど、よく工夫されており優れている。</p> </td></tr> </table>	9 開隆堂	3 8 光村	1 1 6 日文	<p>○「生きることと美術」では個人の尊重と自主自律の精神を、「つながるデザイン」ではユニバーサルデザインの例を、「暮らしやすい町づくり」「夢を形にするデザイン」で障がいのある人が無理なく社会生活を営めるよう工夫されたデザインの例を学ぶなど、人権教育との関連について配慮されている。</p> <p>○「生活を豊かに」「動きのねましさを咲つて」など、友達と関わるながら制作するといったコミュニケーションを意識した題材が多く設定されるなど、道徳教育との関連について配慮されている。</p>	<p>○「やさしさのデザイン」ではユニバーサルデザインを教えると同時に「デザインで変える現在と未来」では基本的人権に関する諸問題をデザインの力で解決する例を取り上げるなど、人権教育との関連について配慮されている。</p> <p>○道徳教育と関連付けられる内容には「クローバーマーク」が付され、その内容を啓発する文章が掲載されるなど、優れている。</p>	<p>○「やさしさのデザイン」ではユニバーサルデザインの視点から、「暮らしやすい町づくり」「夢を形にするデザイン」では基本的人権に関する諸問題をデザインの力で解決する例を取り上げるなど、人権教育との関連について配慮している。</p> <p>○道徳教育について、関連する内容には「ハートマーク」が付され、その内容が分かりやすく明示されるとともに、「自画像、今を生きるあなたへ」では、自分と向き合うことをテーマとして、自己の向上を図り、また、東日本大震災に関連した内容も含まれるなど、よく工夫されており優れている。</p>
9 開隆堂	3 8 光村	1 1 6 日文					
<p>○「生きることと美術」では個人の尊重と自主自律の精神を、「つながるデザイン」ではユニバーサルデザインの例を、「暮らしやすい町づくり」「夢を形にするデザイン」で障がいのある人が無理なく社会生活を営めるよう工夫されたデザインの例を学ぶなど、人権教育との関連について配慮されている。</p> <p>○「生活を豊かに」「動きのねましさを咲つて」など、友達と関わるながら制作するといったコミュニケーションを意識した題材が多く設定されるなど、道徳教育との関連について配慮されている。</p>	<p>○「やさしさのデザイン」ではユニバーサルデザインを教えると同時に「デザインで変える現在と未来」では基本的人権に関する諸問題をデザインの力で解決する例を取り上げるなど、人権教育との関連について配慮されている。</p> <p>○道徳教育と関連付けられる内容には「クローバーマーク」が付され、その内容を啓発する文章が掲載されるなど、優れている。</p>	<p>○「やさしさのデザイン」ではユニバーサルデザインの視点から、「暮らしやすい町づくり」「夢を形にするデザイン」では基本的人権に関する諸問題をデザインの力で解決する例を取り上げるなど、人権教育との関連について配慮している。</p> <p>○道徳教育について、関連する内容には「ハートマーク」が付され、その内容が分かりやすく明示されるとともに、「自画像、今を生きるあなたへ」では、自分と向き合うことをテーマとして、自己の向上を図り、また、東日本大震災に関連した内容も含まれるなど、よく工夫されており優れている。</p>					
発行社名	<table border="1"> <tr> <td>9 開隆堂</td> <td>3 8 光村</td> <td>1 1 6 日文</td> </tr> <tr> <td> <p>○ユニバーサルデザインの視点から、専門機関の校閲を受け、すべての生徒に対して、識別しやすい配色や形状、イラストの配置や写真の配置などに工夫がなされている。</p> <p>○支援が必要な生徒への配慮も含め、トピックはフォントを変えたり、枠書きみを使ったり、枠書きみを使つたデザイン処理など、支援が必要な生徒にもわかりやすい紙面で優れている。</p> <p>○インデックスや目標、発想のヒントなど、視認性の高い色やマークを効果的に使い、支援を必要としている生徒にも理解しやすい。</p> <p>○印刷効果の高いコート紙を用い、印刷も美しく、特に伝統文化である屏風の金色がよく再現できている。</p> <p>○1年生の巻末資料「色彩ホームページ」に掲載されている色相環の色について、財團法人日本色彩研究所の配色体系系に準拠した配色カードと比較して、対応していない色が多く、不十分である。</p> </td><td> <p>○特別支援教育およびユニバーサルデザインの視点から、専門家の校閲を受け、全体に識別しやすい色が選ばれ、特に「色相環」には12色相の色名を記載するなど、色覚特性への配慮が充実している。また、文字の大きさ・種類を割合によって使い分けたり、枠書きみを使つたデザイン処理など、支援が必要な生徒にもわかりやすい紙面で優れている。</p> <p>○インデックスや目標、発想のヒントなど、視認性の高い色やマークを印刷効果に優れたコート紙以外に和紙を使ったページがあり、触覚や視覚の点からも魅力的である。</p> <p>○再生紙・植物油インキを使用し、造本も丈夫である。</p> <p>○各学年段階で必要な経験などを配慮しながら、それぞれの学年に応じた学習内容が選択できるよう、発達段階を踏まえ、2・3年を上・下に分冊した編集している。</p> </td><td> <p>○特別支援教育およびユニバーサルデザインの視点から、専門家の校閲を受け、文字や罫線・インデックスの色、文字の大きさ、行や段落の間隔など、誰もが使いやすい紙面デザインを目指した配慮がなされている。</p> <p>○インデックスや目標のねらい、学習内容のポイントなど、マークが効果的に使われ、誰もがわかりやすく表示されるなど、優れている。</p> <p>○印刷効果に優れたコート紙以外に和紙を使ったページがあり、触覚や視覚の点からも魅力的である。</p> <p>○各学年段階で必要な経験などを配慮しながら、それぞれの学年に応じた学習内容が選択できるよう、発達段階を踏まえ、2・3年を上・下に分冊した編集している。</p> </td></tr> </table>	9 開隆堂	3 8 光村	1 1 6 日文	<p>○ユニバーサルデザインの視点から、専門機関の校閲を受け、すべての生徒に対して、識別しやすい配色や形状、イラストの配置や写真の配置などに工夫がなされている。</p> <p>○支援が必要な生徒への配慮も含め、トピックはフォントを変えたり、枠書きみを使ったり、枠書きみを使つたデザイン処理など、支援が必要な生徒にもわかりやすい紙面で優れている。</p> <p>○インデックスや目標、発想のヒントなど、視認性の高い色やマークを効果的に使い、支援を必要としている生徒にも理解しやすい。</p> <p>○印刷効果の高いコート紙を用い、印刷も美しく、特に伝統文化である屏風の金色がよく再現できている。</p> <p>○1年生の巻末資料「色彩ホームページ」に掲載されている色相環の色について、財團法人日本色彩研究所の配色体系系に準拠した配色カードと比較して、対応していない色が多く、不十分である。</p>	<p>○特別支援教育およびユニバーサルデザインの視点から、専門家の校閲を受け、全体に識別しやすい色が選ばれ、特に「色相環」には12色相の色名を記載するなど、色覚特性への配慮が充実している。また、文字の大きさ・種類を割合によって使い分けたり、枠書きみを使つたデザイン処理など、支援が必要な生徒にもわかりやすい紙面で優れている。</p> <p>○インデックスや目標、発想のヒントなど、視認性の高い色やマークを印刷効果に優れたコート紙以外に和紙を使ったページがあり、触覚や視覚の点からも魅力的である。</p> <p>○再生紙・植物油インキを使用し、造本も丈夫である。</p> <p>○各学年段階で必要な経験などを配慮しながら、それぞれの学年に応じた学習内容が選択できるよう、発達段階を踏まえ、2・3年を上・下に分冊した編集している。</p>	<p>○特別支援教育およびユニバーサルデザインの視点から、専門家の校閲を受け、文字や罫線・インデックスの色、文字の大きさ、行や段落の間隔など、誰もが使いやすい紙面デザインを目指した配慮がなされている。</p> <p>○インデックスや目標のねらい、学習内容のポイントなど、マークが効果的に使われ、誰もがわかりやすく表示されるなど、優れている。</p> <p>○印刷効果に優れたコート紙以外に和紙を使ったページがあり、触覚や視覚の点からも魅力的である。</p> <p>○各学年段階で必要な経験などを配慮しながら、それぞれの学年に応じた学習内容が選択できるよう、発達段階を踏まえ、2・3年を上・下に分冊した編集している。</p>
9 開隆堂	3 8 光村	1 1 6 日文					
<p>○ユニバーサルデザインの視点から、専門機関の校閲を受け、すべての生徒に対して、識別しやすい配色や形状、イラストの配置や写真の配置などに工夫がなされている。</p> <p>○支援が必要な生徒への配慮も含め、トピックはフォントを変えたり、枠書きみを使ったり、枠書きみを使つたデザイン処理など、支援が必要な生徒にもわかりやすい紙面で優れている。</p> <p>○インデックスや目標、発想のヒントなど、視認性の高い色やマークを効果的に使い、支援を必要としている生徒にも理解しやすい。</p> <p>○印刷効果の高いコート紙を用い、印刷も美しく、特に伝統文化である屏風の金色がよく再現できている。</p> <p>○1年生の巻末資料「色彩ホームページ」に掲載されている色相環の色について、財團法人日本色彩研究所の配色体系系に準拠した配色カードと比較して、対応していない色が多く、不十分である。</p>	<p>○特別支援教育およびユニバーサルデザインの視点から、専門家の校閲を受け、全体に識別しやすい色が選ばれ、特に「色相環」には12色相の色名を記載するなど、色覚特性への配慮が充実している。また、文字の大きさ・種類を割合によって使い分けたり、枠書きみを使つたデザイン処理など、支援が必要な生徒にもわかりやすい紙面で優れている。</p> <p>○インデックスや目標、発想のヒントなど、視認性の高い色やマークを印刷効果に優れたコート紙以外に和紙を使ったページがあり、触覚や視覚の点からも魅力的である。</p> <p>○再生紙・植物油インキを使用し、造本も丈夫である。</p> <p>○各学年段階で必要な経験などを配慮しながら、それぞれの学年に応じた学習内容が選択できるよう、発達段階を踏まえ、2・3年を上・下に分冊した編集している。</p>	<p>○特別支援教育およびユニバーサルデザインの視点から、専門家の校閲を受け、文字や罫線・インデックスの色、文字の大きさ、行や段落の間隔など、誰もが使いやすい紙面デザインを目指した配慮がなされている。</p> <p>○インデックスや目標のねらい、学習内容のポイントなど、マークが効果的に使われ、誰もがわかりやすく表示されるなど、優れている。</p> <p>○印刷効果に優れたコート紙以外に和紙を使ったページがあり、触覚や視覚の点からも魅力的である。</p> <p>○各学年段階で必要な経験などを配慮しながら、それぞれの学年に応じた学習内容が選択できるよう、発達段階を踏まえ、2・3年を上・下に分冊した編集している。</p>					

美術科 観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の柱		選定の観点	選定の視点	開隆堂	光村図書	日本文教出版
1 基本的な知識・技能	1 美術科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1 学習の目標の明示と振り返り活動の工夫	○	○	○	○
	2 思考力・判断力・表現力等	2 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るために、問題解決的な学習活動がされていること。	2 基礎的・基本的な内容の定着と資料・図版等の工夫	○	○	○
	4 言語活動の充実	3 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、多様な表現方法や造形要素に問い合わせる題材の構成が工夫されているとともに、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。	3 「共通事項」と学習内容の関連	○	○	○
3 学習意欲	3 表現活動と鑑賞活動の有機的な関連が図られ、かつ創造的な内方が取り入れられているとともに、内容に偏りがないバランスがどれ、題材の配列にも配慮されており、全体の分量も適切であること。	1 発想や構想の力を高め、表現の幅を広げる工夫	○	○	○	○
	5 生涯にわたって学び続ける力(問題解決的な学習・探究能力の発展)	4 各教科独自の観点・他教科等との関連	2 鑑賞活動を促す工夫	○	○	○
	6 各教科独自の観点・他教科等との関連	5 生涯にわたって学び続ける意欲と、国際理解を進め、伝統と文化を尊重し、そのよさを継承・発展させる態度の育成が図られるよう工夫されていること。	3 言語活動の充実	○	○	○
5 生涯にわたって学び続ける力(問題解決的な学習・探究能力の充実)	6 各教科独自の観点・他教科等との関連	6 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探求意欲を高める工夫や学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。	1 国際理解を深めるための工夫	○	○	○
	6 各教科独自の観点・他教科等との関連	7 題材構成の系統性・条理性や他教科・道徳・総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究(キャリア)教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。	2 伝統と文化に関連した工夫	○	○	○
	7 基本的人権の尊重・道徳性の育成	8 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けていること。	3 他教科や教育課題等との関連	○	○	○
6 各教科独自の観点	9 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で美しく使いやすいこと。また、ユニーク・バーサルデザインの視点から文字の大さき、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、教科についても装丁や編集が適切なものであるること。	1 人権教育の推進	○	○	○	○
	4 ユニバーサルデザインの視点	2 道徳教育の推進	○	○	○	○
		3 文字や写真、図表の色や大きさ、美しさ等	△	○	○	○
		4 装丁や紙面のレイアウトの美しさ	○	○	○	○
		5 堅牢な造本	○	○	○	○
		6 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○